

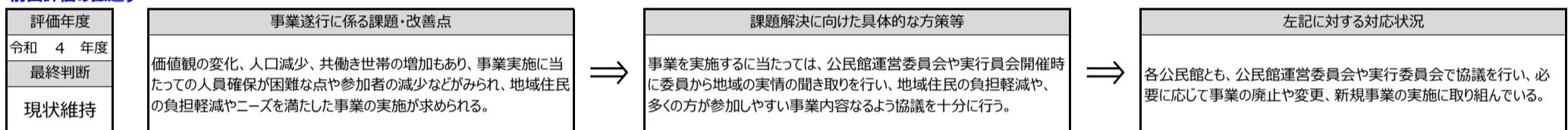
事務事業マネジメントシート

【評価年度：令和7年度】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	伊予地域公民館活動事業			会計区分	1	一般会計			所管部署	社会教育課																									
事業番号	4720-1			予算科目	10款5項2目	教育費				R4年度	R5年度	R6年度																							
評価の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 詳細評価 <input type="checkbox"/> 簡易評価 (事業の概要・結果のみ)			事業区分	政策的事業【任意】 <input type="checkbox"/> 重要事業			シート入力	R4年度	R5年度	R6年度																								
総合計画での位置づけ	基本目標	生涯学習都市の創造										所属長名	岡市	小笠原	小笠原																				
	基本施策	生涯にわたり学習できる環境づくり										担当責任者	堀内	伊予岡	伊予岡																				
根拠法令等	伊予市公民館設置条例、伊予市公民館管理規則												事務担当者	本田	本田	本田																			
関係する計画等	伊予市教育大綱、社会教育基本方針													宮本	隅田	宮岡																			
事業の目的 【ゴール】	対象	市民										事業開始年度	平成17年度																						
目指すべき姿を簡潔に	意図	地域の社会教育関係団体と協力し、地域性を生かした事業を展開することで、生涯にわたり学習できる環境づくりや地域コミュニティの維持・発展に寄与する。											令和	※合併前からの継続事業は平成17年度と入れ																					
事業内容 【アクティビティ】	中央公民館：伊予市全域を対象とした事業を実施 郡中地区公民館、上野地区公民館、中村地区公民館、大平地区公民館：地域の諸団体と協力し、地域性を生かした事業を実施												事業終了年度 (予定)	令和	年度(予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし																			
事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金等 <input type="checkbox"/> その他 ()																																		
連携事業及び関連事業の有無	<table border="1"> <tr> <td>事業番号</td> <td>事務事業の名称</td> <td colspan="3">事務事業の概要</td> </tr> <tr> <td>4730</td> <td>公民館修繕費</td> <td colspan="3">地区公民館施設の修繕</td> </tr> <tr> <td>4750</td> <td>地区公民館運営活動助成事業費</td> <td colspan="3">各地区公民館運営委員会の活動に要する補助金</td> </tr> <tr> <td>4760</td> <td>一般事務費</td> <td colspan="3">公民館施設及び活動に必要な費用</td> </tr> </table>												事業番号	事務事業の名称	事務事業の概要			4730	公民館修繕費	地区公民館施設の修繕			4750	地区公民館運営活動助成事業費	各地区公民館運営委員会の活動に要する補助金			4760	一般事務費	公民館施設及び活動に必要な費用			【連携事業】 一括的に実施している事業 【関連事業】 関係が深い事業		
事業番号	事務事業の名称	事務事業の概要																																	
4730	公民館修繕費	地区公民館施設の修繕																																	
4750	地区公民館運営活動助成事業費	各地区公民館運営委員会の活動に要する補助金																																	
4760	一般事務費	公民館施設及び活動に必要な費用																																	
本事業とSDGs (持続可能な開発目標) との関連性	<input type="checkbox"/> ゴール1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール2 飢餓をゼロに <input type="checkbox"/> ゴール3 すべての人に健康と福祉を <input checked="" type="checkbox"/> ゴール4 質の高い教育をみんなに <input checked="" type="checkbox"/> ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> ゴール6 安全な水とトイレを世界中に			<input type="checkbox"/> ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input type="checkbox"/> ゴール8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input type="checkbox"/> ゴール10 人や国の不平等をなくそう <input checked="" type="checkbox"/> ゴール11 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> ゴール12 つくる責任つかう責任			<input type="checkbox"/> ゴール13 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> ゴール14 海の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール15 陸の豊かさを守ろう <input checked="" type="checkbox"/> ゴール16 平和と公正をすべての人に <input type="checkbox"/> ゴール17 パートナーシップで目標を達成しよう																												

前回評価の振り返り



事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳 (千円)					事業費の内訳							
項目	R4実績	R5実績	R6実績	R7要求	例年支出のあるもの	節	細節	事業費 (千円)				摘要 ※代表的なものを簡潔に
	当初予算	2,417	2,439	2,467				R4実績	R5実績	R6実績	R7要求	
予算	補正予算					報償費		162	230	233	343	各地区公民館講師謝金
	前年度から繰越					旅費		0	0	0	0	
	予備費等					需用費		169	252	189	188	各地区公民館事業関係消耗品
	計	2,417	2,439	2,467	2,085	役務費	通信運搬費	37	63	27	98	各地区公民館郵送料
決算	執行額	383	1,655	1,341		役務費	手数料	0	10	10	10	中村公夏まつりやぐら設置手数料
	翌年度へ繰越					委託料		0	1,005	830	1,380	市民運動会委託料
財源内訳	国庫支出金					使用料及び賃借料		15	95	52	66	
	県支出金											
	地方債											
	その他											
	一般財源	383	1,655	1,341	2,085							
	執行率 (%)	15.8%	67.9%	54.4%								
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	15.8%	67.9%	54.4%								
	正規職員の人工数	0.50	0.50	0.50								
	1人当たりの人工費単価	7,794	7,765	7,895								一般事務費、上記で書き表せないもの
	※ 執行額+人件費	4,280	5,538	5,289								

事業活動の実績【アウトプット】

活動指標	活動実績の達成度を測る指標	単位	目指す方向性	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	達成度	令和4年度の振返り		令和5年度の振返り	
								活動成果や課題等	課題への改善提案		
指標①	青少年教育	回	→	10	10	10	かなり達成 (80%以上)	コロナ禍により、計画していた事業が中止となり、満足な活動ができなかつた。	市民のライフスタイルや価値観の変化に伴い、事業の見直しを行い、生涯学習の継続、地域コミュニティの維持に資するよう努める。	各地区館とともに、各事業について、継続か変更かを検討することになり、事業の実施状況にもばらつきが見られた。また、市民のニーズに合わせて新規事業を開始するなど、アフターコロナに合わせた活動を行った。	事業の見直しも終わり、新しい形での事業の実施が各地区館ごとに行えた。
				6	15	9	かなり達成 (80%以上)				
指標②	成人教育	回	→	40	40	40	かなり達成 (80%以上)	コロナ禍により、従来通りの事業を継続すべきかどうか、各地区公民館ごとに議論をしていく。	市民のライフスタイルや価値観の変化に伴い、事業の見直しを行い、生涯学習の継続、地域コミュニティの維持に資するよう努める。	市民のニーズに合わせた事業を実施するためにも、引き続き公民館運営委員会等で意見集約及び事業の改善を図っていく。	事業の見直しも終わり、新しい形での事業の実施が各地区館ごとに行えた。
				32	56	36	かなり達成 (80%以上)				
指標③	高齢者教室	回	→	32	32	32	かなり達成 (80%以上)	コロナ禍により、従来通りの事業を継続すべきかどうか、各地区公民館ごとに議論をしていく。	市民のライフスタイルや価値観の変化に伴い、事業の見直しを行い、生涯学習の継続、地域コミュニティの維持に資するよう努める。	市民のニーズに合わせた事業を実施するためにも、引き続き公民館運営委員会等で意見集約及び事業の改善を図っていく。	事業の見直しも終わり、新しい形での事業の実施が各地区館ごとに行えた。
				18	32	33	かなり達成 (80%以上)				
指標④	コミュニティ事業（体育事業・公民館まつり）	回	→	22	22	22	かなり達成 (80%以上)	コロナ禍により、従来通りの事業を継続すべきかどうか、各地区公民館ごとに議論をしていく。	市民のライフスタイルや価値観の変化に伴い、事業の見直しを行い、生涯学習の継続、地域コミュニティの維持に資するよう努める。	市民のニーズに合わせた事業を実施するためにも、引き続き公民館運営委員会等で意見集約及び事業の改善を図っていく。	事業の見直しも終わり、新しい形での事業の実施が各地区館ごとに行えた。
				7	28	22	かなり達成 (80%以上)				

事業活動の成果【アウトカム】

成 果 指 標	想定される事業活動の成果	活動成果の達成度を測る指標	単位	目指す方向性	R 4	目標実績	R 5	目標実績	R 6	目標実績	達成度	左記の指標が設定できない場合は、事業実施によって評価期間内に発現した定性的な成果を記入
中期成果	住民の身近な学習拠点である公民館が核となり、地域住民のニーズに対応した学習の機会を提供する。	指標① 各種事業・学級の活動回数	回	→	104		104		104		かなり達成(80%以上)	
					63		131		100			

事務事業の評価

所管における事務事業の評価	自己判定	S	A	S	S	S	S	S	S	S	S	事業遂行に係る工夫点・事業成果
												公民館活動は、生涯学習の推進及び地域コミュニティの維持に必要不可欠なものと考えており、その点は、各館とも目的を果たせている。なお実施内容や規模などについては、地域団体と連携したり、研修等で新たな知見を得るなど、常に改善し続ける必要があると考えている。
												事業遂行に係る課題・改善点
												公民館活動や諸団体との共催事業については、コロナ後の価値観の変化や社会的ニーズを取り入れ、内容を改善していく必要があると思われる。
												課題解決に向けた具体的な方策等
												長年コスト削減を行っており、これ以上の削減は活動継続に支障をきたすと考えている。
												これとは別に各地区館ごとに、諸団体との共催による活動を行うことで、コストのかからない形での公民館活動も積極的に実施している。
												所属長の所見
担当者	自己判定結果の確定											
一次判定	貢献度	S A B C D	S A B C D	非常に高い 高い 普通 低い 非常に低い	S A B C D	地域の特性を生かした公民館活動は、生涯学習の推進と地域コミュニティの維持に一定の効果を上げており、関係団体との連携による運営も定着している。今後は、社会的ニーズの変化を踏まえ、運営手法や住民参加のあり方を見直しつつ、持続可能な事業展開を図る必要がある。						
所属長	重要度	S A B C D	S A B C D	非常に高い 高い 普通 低い 非常に低い	S A B C D							